

課題番号2

課題名	【重点課題3】マーケットインの発想による重点品目の生産振興 グローアッププラン(ぶどう)の取組	
対象:	認定農業者、新規就農者	計画期間 R2～R8 事務所名 中部農と緑の総合事務所
普及課題	活動方法	活動成果
①新規就農者・農業ボランティアの確保育成 ②スマート農業技術の導入 ③万博を契機とした産地のブランド力強化	①柏原市ぶどう担い手塾等による担い手の育成 ②ハウス自動開閉装置の導入推進及び環境測定機器と温度管理指針に基づいた指導 ③大阪府オリジナル品種「虹の雫」の生産振興、万博を見据えたプロモーションの展開	①担い手の売上額30%増(中部 R2:1.09億円→R5:1.42億円) ②新規参入者への利用集積1.0 ha(R5 中部) ③労働時間縮減 10a 当たり7.1%縮減(R5 中部) ④単収 10a 当たり25%増(中部 R3:116万円/10a→R5:145万円/10a)

総合評価 (コメント)
<p>A : 3名 B : 2名</p> <p>■市町村や関係団体との連携を一層はかりながら、ブドウ産地として、デラウェアとシャインのバランスをどう維持発展させていくのか、展望してほしい。</p> <p>■現状把握と的確な課題抽出ができており、それらに対する計画と実行、さらに出た課題に対する修正など順調なステップを踏んでいると思われる。夏場の高温対策と生産者の労働時間の短縮は更なるアイデアの構築と実行が必要だと思うが、引き続き進めて欲しい。評価はできるが、次のステップとして目標設定のハードルを低くして実現するのではなく、高い目標に向かって更なる飛躍を期待している。</p> <p>■万博をきっかけに「虹の雫」のブランド力が強化されることも考えられるが、大阪府のみならず近畿圏でのブランド力を地道に高めていくことも、安定的な生産振興につながるのではないかと。</p> <p>■「品質が良い」とアピールするだけでは伝わらない。どう伝えていくか、デザインの思考が必要だと思う。</p> <p>■虹の雫のPR活動が良かった。デラウェアのPRの話も聞きたかった。</p>

評価 A: おおむね適切である。 B: 部分的に検討が必要である。 C: 見直しが必要である。